戦後80年のあゆみ

日本の終戦から今年で80年が経過しました。戦時か ら現在までの間、私たちの暮らしに大きく影響を与え た出来事などを歴史資料などから振り返ります。

問合先 総務課市史資料室(北村支所内) ☎ 56-2001

戦争の悲惨さや平和の尊さを語り継ぐ戦没者慰霊祭 第7回

戦後生まれの遺族が多くなった戦後80年、全国各地で戦没者慰霊祭が開催され、平和を守る大切さを将来 に継承することを訴えました。明治29年1月、明治政府は岩見沢村を含む石狩国に徴兵令を施行し、20歳 になった青年男子は徴兵検査に合格すると、3年間の兵役に就くことになりました。明治37年に始まった日 露戦争では、凱旋する軍人の陰で多くの戦死者や戦傷者を出し、その数は昭和6年から中国大陸で始まった 十五年戦争下、アジア太平洋戦争を迎えると著しく増加しました。白布に包まれた戦死者の遺骨が帰郷すると 各地で町葬や村葬が行われましたが、戦局が混迷すると戦死者の消息は途切れるようになりました。

明治 41 年ごろから入隊中の帰休兵や予備役兵など郷土で待機する軍人により、各地で在郷軍人会が創設さ れました。在郷軍人会は、青年団などへの有事に備えた準備や指導を担い、戦死者を祭る忠魂碑の建設にも当 たりました。大正 11 年創立の在郷軍人会岩見沢分会救護隊は、翌年 9 月の関東大震災や大正 14 年 6 月の岩 見沢大火の救護活動に当たりました。十五年戦争下では、町村主催の戦死者の慰霊、追悼行事が日常化し、毎 年の招魂祭では奉納相撲なども行われ、昭和13年からは軍人遺族や傷痍軍人などへの慰問や生活支援など軍 人援護が強化されました。終戦後、連合国により規制された追悼行事は、各地の団体組織が引き継ぎ、昭和 27年の講和条約締結に伴い復活しました。

戦時下に発足、終戦直後に自然解散した大日本傷痍軍人会岩見沢支 部に代わり、昭和33年に発足した北海道傷痍軍人会岩見沢支部は、 会員の高齢化に伴い平成18年に解散しました。会員らは「戦傷病者 に対する世人の冷たい目を避けながら歩んできた茨の道は、到底筆舌 に尽くし得ぬ辛苦の連続であった」と顧み、支部旗には *われわれの あとに戦傷病者をつくるな、という会の信条が込められました。傷痍 軍人会が残した支部旗は、戦没者慰霊祭とともに私たちに二度と戦争 という過ちを繰り返すことのないように、戦争の悲惨さや平和の尊さ を語り継ぐことを教えてくれます。



正解者の中から抽選で10人に図書カード500円分をプレゼント

みんなが安心して楽しく暮らせるま 問題 ちづくりには ^{*}情報共有の原則、 ^{*}□ □の原則、、協働の原則、が大切です。 □に当てはまる言葉をお答えくださ

締め切り 10月20日(必着)

応募 方法

はがき、市ホームページのフォーム、ファックス (0126-23-7731), $E \times - \mu$ (pr@city.iwamizawa. lg.jp) で、●クイズの答え●住所●氏名●年齢●電話

番号◉広報紙に関するご意見・ご要望を必ず記 入し、総務部秘書課広報室へ。当選者の発表は、 発送をもって代えさせていただきます。9月号 の正解は認知症観でした



人の動き

住民基本台帳(令和7年8月31日現在)

34,106 人 (前月比 -男 59) 人口 女 39,048 人 (前月比 -26) 総数 73,154 人 (前月比 -85)

世帯数

広告

40,239 世帯 (前月比 -15)

岩見沢市役所

ѿ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号 ☎ 0126-23-4111 (代表) FAX 0126-23-9977

ホームページ https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/











ホームページ X (旧 Twitter)

Facebook Instagram

LINE

広告募集中

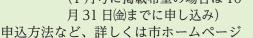
広報いわみざわに広告を掲載しませんか

募集枠数 各号2枠(申し込み多数の場合は抽選)

掲載料 各号 1 枠 22,000 円

申込期限 掲載希望号の3カ月前の月末

(1月号に掲載希望の場合は10





ID: 14518



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル デザインフォントを採用しています。

この広報紙は道産間伐材 配合紙を使用しています。

をご覧ください